



第1問 次の1～5の問いに答えなさい。

1 我が国の公的介護保険制度および介護休暇制度の仕組みに関する記述として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 介護保険料は、40歳から納め始め、64歳で払い終える。
- b 介護保険は、特定疾病が原因で介護が必要になった場合には、40歳であっても給付の対象となる。
- c 介護保険のサービスの利用にあたっては、各区市町村に要介護認定を申請し、認定を受けた後、ケアプランに基づき、サービスを利用する。
- d 育児・介護休業法には、介護が必要な家族1人につき、1年度に5日まで、対象家族が2人の場合は1年度に10日まで、介護休業や年次有給休暇とは別に休暇を取得できる介護休暇制度が定められている。

2 次の生命倫理に関する記述として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 出産できない女性のために出産後に子を渡す約束で子を妊娠することを代理懐胎という。
- b 医療の場において、患者の利益になると医師が判断した治療を行うことをノーマライゼーションという。
- c 医師が患者に十分な説明を与えたうえで患者が治療の方針や方法について同意することをインフォームド・コンセントという。
- d 子どもをもつか・もたないか、もつとしたらいつ、何人の子どもをもつのかを女性が自ら決定することができる権利をリプロダクティブ・ライツという。

3 次のバイオテクノロジーの発達と課題に関する記述として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 「ヒトゲノムと人権に関する世界宣言」とは、ヒトゲノムの研究が、個人及び人類全体の健康の改善に寄与することを求めて、1997年にユネスコ総会で採択された宣言である。
- b 日本では、2001年にクローン技術規制法が施行され、クローン胚の作製、及びそれを母体に移してクローン人間をつくることを禁じた。
- c 日本政府は、2001年にヒトゲノムの解析にあたっての倫理指針を制定し、これまでに順次改正している。
- d 治療の見込みのない末期患者の苦痛を取り除き、最期の時間を有意義に過ごすために、日本国内では1980年代からつくられ始めた施設を、ローラットという。

- 4 環境倫理の分野で、次の説明文の思想家を、下の a～d から一つ選びなさい。

エ

ベンサムの「平等の根拠は幸福・苦痛を享受する能力にある」を動物にも適用し、「動物の解放」を提唱した。

- a エマーソン
 - b ソロー
 - c ピーター＝シンガー
 - d ラスキン
- 5 ドイツの社会学者テンニースが提唱したゲマインシャフトの説明文として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。 オ

- a 家族のように、感情的に融合し全人格をもって結合している人々からなる集団のこと。
- b 社会の情報化に伴って発生した、パソコンやインターネットなどの情報関係の機器やサービスを利用する能力の格差のこと。
- c 多様な大量の情報が伝達される社会の中で、真実で正確な情報や必要な情報を主体的に選択し、把握できる情報判断能力や情報への批判的理解力のこと。
- d 企業や大都市のように、各自の利害にもとづいて行動し人格の一部によってしか結合していない人々からなる集団のこと。

第2問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(8)の問いに答えなさい。

(1) 日本国憲法の改正手続は日本国憲法第96条で定められている。この改正手続に関する記述として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 憲法改正の公布は、天皇の名において内閣総理大臣が行う。
- b 憲法改正の発議は、衆参両院ともに出席議員の3分の2以上の賛成で行う。
- c 憲法改正の発議に際して、参議院の賛成が得られない場合は、両院協議会において3分の2以上の賛成が必要となる。
- d 憲法改正の承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際に行われる投票において、その過半数の賛成を必要とする。

(2) 我が国の国会の権限についての記述として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 衆参両院の議決が異なる法律案は、両院協議会でも成案が得られない場合、衆議院の議決が国会の議決となる。
- b 内閣不信任の決議権は、衆議院のみに付与されている。
- c 参議院で否決された予算案は、衆議院の出席議員の3分の2以上の賛成で再可決された場合、成立する。
- d 最高裁判所の長たる裁判官を任命する。

(3) 戦後の日本政治における55年体制についての記述として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 左右社会党の再統一による日本社会党の発足と、自由党・国民民主党の保守合同による自由民主党の結成により成立した。
- b 55年体制は二大政党制の期待を持って出発したが、実際には自由民主党が政権を握り続けた。
- c 1960年～70年代には、民社党や公明党など相つぐ登場によって、野党の多党化が進んだ。
- d 官庁と利益集団との間に立って利害調整を行う族議員が誕生し、政策決定に大きな影響力を持っている。

(4) 日本で1990年代後半以降に実施された地方分権改革の内容として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 地方議会の議決により成立する条例の内容は、法令の規定に反することも可能とされた。
- b 地方自治体の財政悪化を防ぐため、地方債の発行について総務大臣による許可制が導入された。
- c 国と地方自治体の間に対等な関係を構築するため、地方公共団体の活動は自治事務と法定受託事務に整理された。
- d 地方自治体の安定した財政運営を確立するため、三位一体の改革で酒税が地方へ移譲された。

(5) 日本国憲法第9条に関する裁判についての記述として、**誤っているもの**を、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 米軍立川基地拡張に反対する学生・労働者らが基地内に入り日米安全保障条約にもとづく刑事特別法違反として起訴された砂川事件の第一審判決は、日米安全保障条約にもとづく在日米軍の駐留は違憲であるとし、学生らが無罪とした。
- b 騒音被害のため、演習中止を訴えて無視された酪農家が自衛隊の通信線を切断し、自衛隊法違反として起訴された恵庭事件の第一審判決は、被告人を無罪としたが憲法判断については回避した。
- c 航空自衛隊のミサイル・ナイキ基地建設のため政府が保安林指定を解除し、住民が解除無効を訴えた長沼ナイキ訴訟の第一審判決は、自衛隊は陸海空軍に該当し違憲であるとし、住民側が勝訴した。
- d 航空自衛隊基地建設予定地の土地所有をめぐり、国と基地反対住民が争い、これに関連して自衛隊の合違憲性が争点となった百里基地訴訟の第一審判決は、自衛隊は違憲であるとし、住民側が勝訴した。

(6) 我が国において社会・経済の大きな変動の中で唱えられるようになった新しい人権についての記述として**誤っているもの**を、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 環境権とは、人間の生存にとって必要な生活環境を享受する権利であり、これまで判例において明示的に認められてきた。
- b アクセス権とは、報道によって損なわれた利益の回復を要求する反論権などといった形であらわれ、巨大化したマスメディアを開かれたものにし、人々が広くそれに参入し利用するための権利である。
- c プライバシー権とは、私生活がみだりに公開されない権利であるとともに、自らについての情報が勝手に利用されないようにそれをコントロールする権利でもある。
- d 知る権利とは、国民は必要な情報を自由に知ることができるという権利であり、この権利のため、情報公開法が制定された。

(7) 我が国の少年法の改正についての記述として誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 平成12年の改正により、刑事処分可能年齢が16歳以上から14歳以上に引下げられた。
- b 平成19年の改正により、14歳未満の少年の少年院送致が可能となった。
- c 平成20年の改正により、一定の重大事件の被害者等が少年審判を傍聴することができる制度が導入された。
- d 平成30年の改正により、少年法の適用対象年齢が18歳未満に引下げられた。

(8) 我が国の国会の運営に関する記述として誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 臨時会とは、内閣が必要と認めたとき、または、いずれかの議院の総議員の4分の1以上の要求があったときに召集される国会である。
- b 常会とは、年1回定期的に召集される国会であり、毎年1月に召集され、会期は150日間である。
- c 緊急集会とは、衆議院の解散中、国会を召集する緊急の必要が生じたとき、内閣の請求によって召集される衆議院の集会である。
- d 特別会とは、衆議院の解散による総選挙後30日以内に召集される国会であり、会期は衆参両院の一致で決定される。

2 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 資本主義経済に関する記述として誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a レッセ・フェールとは、自由放任のことで、原則として、政府は民間の経済活動に介入すべきではなく、経済は市場における自由競争にゆだねる方がよい、とする考え方である。
- b マニュファクチュアとは、家内工業のことであり、商業資本のもとに手工業的な生産者によって分散的に行われる経営である。
- c 重商主義とは、富とは金銀や貨幣であり、この富は貿易によって得られるとする考え方である。
- d エンクロージャーとは、15世紀末から19世紀にイギリスで起こった「土地の囲い込み」のことである。地主が土地を囲い込んで牧羊を始め、農民は農地から追い出されて都市に移住し、労働者となっていった。

(2) 株式会社についての記述として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 株式を発行して資金調達した企業は、その経営状態にかかわらず、発行時に決めた金利を株主に払い続けなければならない。
- b ある企業の株式を購入した者は、その企業が倒産したとき、その債務について、自らが出資した金額を超えて返済の義務を負う。
- c 取締役会は、株主総会によって選任された取締役によって構成され、株式会社の業務執行を決定する機関である。
- d 株主総会は、株式会社における最高議決機関であり、株主は、所有株式数にかかわらず等しく議決権が与えられる。

(3) 我が国の予算に関する記述として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 補正予算は、本予算が成立した後で、著しい経済情勢の変化などで、経済対策など追加の財政支出が必要となったときに組まれる。
- b 特別会計の予算は、特定の事業を行う場合や特定の資金を管理・運用する必要がある場合に、一般会計の予算に組み込んで作成される。
- c 財政投融资の見直しが行われ、現在では郵便貯金や年金の積立金は一括して国に預託され、運用されるようになっている。
- d 国の予算の一つである政府関係機関予算については、国会に提出して、その承認を得る必要はないとされている。

(4) 銀行は預金を受け入れると、その一部を支払（預金）準備として残して貸し出す。支払準備率が20%の時に最初に受け入れた預金額が1000億円だった場合、金融機関が貸し付けを通してつくることのできる預金通貨の額はいくらになるか、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 500億円
- b 800億円
- c 2000億円
- d 5000億円

(5) 日本における環境保護についての法制度や裁判の記述として誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 限られた資源を有効に活用し、地球環境を保全していく循環型社会の形成を直接の目的とした法律が制定された。
- b 環境アセスメントに関する法律である環境影響評価法は、全ての事業を対象に、開発にともなう環境への影響の程度、範囲、環境破壊の防止策などを総合的に事前評価することを規定している。
- c 環境行政を総合的に推進することを目的とした環境基本法制定によって、公害対策基本法は廃止された。
- d 汚染者負担の原則とは、公害の発生源となる者や汚染者が、公害の防止や被害救済の費用を負担すべきであるとの原則である。

3 次の (1)・(2) の問いに答えなさい。

(1) UNESCOに関する記述として誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 2018年、アメリカはUNESCOの政治化や改革の遅滞などを理由に脱退した。
- b 2019年時点で、日本が最大の分担金拠出国である。
- c 戦後の日本が初めて加盟した国連機関である。
- d 世界遺産条約は、1972年のUNESCO総会で採択された。

(2) 諸外国の経済発展に関する記述として誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a BRICSとは、豊富な天然資源を持ち21世紀に入って経済発達が目覚ましい、ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカのことをいう。
- b NIESとは、1970年代に入って、発展途上国の中で、急速な工業化と高い経済成長率を達成した国や地域のことで、韓国、シンガポール、台湾、メキシコなどを指す。
- c LDC・LLDCとは、発展途上国の中にあっても、特に経済発展が遅れている国のことで、1人あたりの国内総生産額が低く、飢餓が恒常化している国を指す。
- d NIEOとは、OECDの下部機関で、加盟国による発展途上国援助を調整し、促進する機関のことである。

第3問 次の1～4の問いに答えなさい。

- 1 さまざまな人間観や人間の定義について、人名とその内容の組み合わせとして最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a マッキンタイア — 人間は共同体の伝統のなかで考え方を身につけることで、さまざまな役割を果たせるようになる。
- b ハイデッガー — 人間は最初は何ものでもない。人間はあとになってはじめて人間になる。
- c モンテーニュ — 人間は一茎の葦にすぎない。自然のなかで最も弱いものである。だが、それは考える葦である。
- d ベルクソン — 「遊び」は自由な行為であり、日常生活における仕事を支える基礎となる。人間は「遊戯人」(ホモ・ルーデンス)である。

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) アリストテレスの基本的な考えを説明した次の文において、空欄【 A 】～【 D 】に入る語の適切な組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。

アリストテレスは、師のプラトンのイデア論を批判し、現実の個々の事物は、個物をつくる素材としての【 A 】(【 B 】)と、事物に内在し、それが何であるかを規定する本質としての【 C 】(【 D 】)から構成されることを説いた。

- | | | | | |
|---|-------|----------|-------|----------|
| a | 【A】形相 | 【B】エイドス | 【C】質料 | 【D】プシュケー |
| b | 【A】質料 | 【B】プシュケー | 【C】形相 | 【D】エイドス |
| c | 【A】形相 | 【B】イドラ | 【C】質料 | 【D】ヒュレー |
| d | 【A】質料 | 【B】ヒュレー | 【C】形相 | 【D】エイドス |

- (2) 古代インド思想・宗教においては、輪廻転生からいかに解脱するかが課題となっていたが、諸思想・宗教におけるそれについての考え方として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a バラモン教のなかで展開したウパニシャッド哲学においては、宇宙の根本原理であり、それ自身は消滅変化しない永遠絶対な存在であるブラフマン（梵）と、われわれ自身の内にある本来的な自己であるアートマン（我）とは、そもそも一体であるということを自覚することを説いた。
- b ジャイナ教の開祖となったヴァルダマーナ（マハーヴィーラ）は、不殺生・不妄語・不偷盗・不邪淫・無所有の5つの戒を守るべきとし、解脱のために苦行と不殺生（アヒンサー）を徹底することを人々に求めた。
- c 紀元前6世紀ごろに現れたバラモン教の伝統に批判的な自由思想家たちのなかには、仏教側からは「六師外道」と呼ばれる6人の思想家がいるが、彼らは輪廻転生の考え方自体を否定し、それぞれ独自の苦行に取り組んだ。
- d 仏教の開祖となったブッダ（ガウタマ＝シッダルタ）は、すべては原因や条件があわさって起こるということ、思いどおりにはならないという苦の原因は煩惱や執着であることを理解し、苦をなくすため、8つの正しい修行方法を説いた。

- (3) ヘレニズム時代の代表的な思想について説明した次の文において、空欄【 A 】～【 D 】に入る語の適切な組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。

【 A 】の思想においては、禁欲主義の立場に立って、喜怒哀楽の情念に動かされない状態である【 B 】を理想とした。その結果、人間の理性が宇宙・自然をつらぬく理性に通じる【 C 】を信条とした。そのような同派の教えは、すべての人間の平等を強調する【 D 】としての生き方を生み出した。

- a 【A】 エピクロス派 【B】 アタラクシア 【C】 「隠れて生きよ」
【D】 コスモポリテース
- b 【A】 ストア派 【B】 アパテイア 【C】 「自然にしたがって生きよ」
【D】 コスモポリテース
- c 【A】 エピクロス派 【B】 アパテイア 【C】 「隠れて生きよ」
【D】 ポリス的人間
- d 【A】 ストア派 【B】 アタラクシア 【C】 「自然にしたがって生きよ」
【D】 ポリス的人間

3 次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

(1) ルネサンスと宗教改革に関わる思想家の思想内容の説明として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a ルネサンスとは「文芸復興」という意味だが、これは長きにわたるヨーロッパ中世のなかで、初期のキリスト教、特にイエスの時代の本来の精神から変質してしまっただけで、それを取り戻すことをねらった動向だった。
- b エラスムスは、『人間の尊厳についての演説』のなかで、神は人間を世界の中心にすえ、自己のあり方を自由に規定し、みずからの人生をつくりあげる自由意志をもった存在であることを主張し、そこに人間の尊厳を認めた。
- c 宗教改革のなかでウィクリフとフスは協力して、カトリックの墮落や贖宥状を批判し、信仰義認説・聖書中心主義・万人司祭主義を打ち出すとともに、聖書をドイツ語訳し、一般庶民への浸透をはかった。
- d カルヴァンの唱えた予定説と職業召命観（天職思想）に特徴づけられるカルヴィニズムについて、ウェーバーは『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』のなかで、カルヴィニズムの浸透が、ヨーロッパの資本主義を発展させる精神を準備したと主張した。

(2) 次のA・Bの経験論と合理論に関する記述について、その内容の正誤の組み合わせとして適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- A スピノザは、デカルトが精神と物体を二元論的に考えたのに対し、神こそが無限で永遠の唯一の実体であって、精神と物体は神の2つの属性であり、両者は神のもとに統一されると説くとともに、自然を神のあらわれと捉える汎神論を唱えた。
- B バークリーは、経験論の立場を徹底させ、知覚されたもの以外に客観的な世界は実在せず、自我でさえも「知覚の束」にすぎないものとしてその実在を否定した。さらには、因果法則も、観念についての習慣的な連想から生まれた一種の信念であると説いた。

- a A — 正 B — 正
- b A — 正 B — 誤
- c A — 誤 B — 正
- d A — 誤 B — 誤

(3) プラグマティズムの思想家であるデューイの思想の説明として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a プラグマティズムの創始者で、ある概念の意味を明瞭にするためには、その概念が対象に及ぼす効果を考えよということを説いた。
- b 「それは真理であるから有用である」と同時に、「それは有用であるから真理である」と説き、それを自らのプラグマティズムの要とした。
- c 学問や知識は人間にとって役立つ道具である。さらに、知識・理論の価値は、他の道具と同様それ自体の中にあるのではなく、実際に使用された場合の結果の有用性にあるという。また、教育の革新に情熱を燃やし、戦前には来日してその思想を説いた。
- d プラグマティズムを心理学にも援用し、宗教的な観念を信じる経験が当人にとってどのような結果をもたらすかといった点から『宗教的経験の諸相』を著し、回心の類型について論じた。

(4) マルクスの思想に関する記述のうち誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 生産力と生産関係にもとづく経済を下部構造、政治制度や思想・宗教などの文化を上部構造とし、前者が土台として後者を支えているとした。
- b 資本主義社会における労働者は、創造の喜びや誇りは失われ、生産物も労働力も商品となり、労働者が生産物から遠ざけられた「疎外された労働」になっていると批判した。
- c エンゲルスと共著の『共産党宣言』のなかでは、「歴史とは、常に階級闘争の歴史である」と述べ、生産力に応じた生産関係と社会制度の成立の歴史を考察し、唯物史観（史的唯物論）を打ち立てた。
- d 現実路線を取って武力革命を否定し、労働者の代表による議会活動を通して漸進的に社会を改革し、社会主義の理念を実現することを目指した。

- (5) 実存主義の思想家のうち、次の説明文の人物を、下の a～d から一つ選びなさい。

ケ

ギリシャ哲学以来の「存在とは何か」という問題をあらためて問い返した。人間は少なくとも何かが存在するとはどういうことかを問うことができる、「現存在」であると名づけた。現存在は、世界の内に投げ出されており、その世界のうちで他者と関係している「世界内存在」にはかならない。ところが日常のなかでは、現存在は「この私」という独自性を意識しておらず没個性的な「ひと」として過ごしている。しかし、自己の死という有限性を自覚することで現存在はむしろ「死へとかかわる存在」となり、本来的な自己が獲得される、と説いた。

- a キルケゴール
- b ニーチェ
- c ハイデガー
- d ヤスパーズ

- (6) 現代のさまざまな思想家に関する記述として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。コ

- a ハーバーマスは、各人がよりよい生き方をみずから選んでゆく自由である潜在能力がどれだけ確保されているか、という観点から、福祉をとらえ直し、その開発や発展を説いた。
- b アーレントは、人間の活動を、生命維持のための糧を得る「労働」、自然を加工してものをつくる「仕事」、人間相互での「活動」に分け、特に「活動」が公共性の領域をかたちづくると論じた。
- c センは、正義を考える際に、基本的な自由は社会の全成員に平等であり、公正な競争の結果生じた格差は、社会の最も不遇な人々の生活改善につながるものであることなどをルールにすえた。
- d ロールズは、他者と望ましいコミュニケーションを可能とする理性である対話的理性を提唱し、それに基づいた議論によって合意を形成することを目指した。

4 次の文を読んで、下の(1)～(5)の問いに答えなさい。

外来の諸思想の影響を受けなかった日本のオリジナルな思想といったものは、あるのだろうか。さまざまな思想の影響を剥ぎ取ろうとして、玉ねぎの皮のように一枚一枚剥いていったら、最後には何も残らなかったということにならないだろうか。その点ではむしろ、外来思想の影響を受けながら、多様な思想が形成されていったプロセスを捉える姿勢が大切になってくる。

仏教は、インドから中国と朝鮮半島を經由して日本に伝わった外来宗教だが、奈良仏教・①平安仏教・鎌倉仏教と、多彩かつ独自の展開を遂げ、日本仏教をかたちづかった。

儒教思想も、外来思想として、とりわけ朱子学のかたちで近世に大きな力を持った。しかし、近世の②儒者らも単に引き写すのではなく、独自の知的営為を重ねた。また、③陽明学派、古学派といった動きにも展開していった。さらには、日本の独自性をそれぞれに追究した④国学や近世の諸⑤民衆思想の動きも、そもそも「漢意」の伝播がなければ成立しえなかったものだろう。

明治維新以降は、外来思想、特に西洋文明の影響を受けながら、近代化を成し遂げたが、かえって国家主義が台頭した。今日でも、グローバル化のなかで自民族中心主義や排外主義に陥らないためにも、依然として「日本の思想とは何か」が課題であり続けている。

(1) 下線部①に関して、平安仏教の特徴についての記述として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 天台宗を開いた最澄は、法相宗の徳一と論争し、教えやその人の素質によって仏になれるかどうかにかがいがあことを主張した。
- b 真言宗を開いた空海は、高野山に金剛峰寺を建てた。真言宗は密教であり、宇宙の究極的な原理そのものを仏とみなし、阿弥陀如来と呼ぶ。
- c 空海は、手に印契を結び、口に真言を唱え、心を仏に集中させるという身・口・意の三密の行を修することにより、その身のまま仏と一体となるという即身成仏を説いた。
- d 最澄・空海の平安仏教は、奈良仏教の「鎮護国家」とは異なり、山間の寺院に籠っての修行の完成と個人の現世利益を専ら追求するものだった。

- (2) 下線部②に関して、藤原惺窩の思想に関する記述として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 「人たるの道は、人間関係としての人倫のほかには求められないのであり、人倫を絶って仁や義を無視する仏教の教えはまちがいではないか」と考え、僧侶から還俗して儒者となった。
- b 「天は上にあり、地は下にあるは、天地の礼也。…万事につきて上下・前後の次第あり。この心を天地におしひろむれば、君臣・上下、人間みだるべからず。」と身分秩序を説いた。
- c 「誠とは、道の全体。故に聖人の学は、必ず誠をもって宗とす。…いわゆる仁義礼智、いわゆる孝弟忠信、みな誠をもってこれが本とす。」と仁の根本を説いた。
- d 「我能く人を愛すれば、人亦我を愛す。相親しみ相愛すること、父母の親しみの如く、兄弟の睦きが如く、行ふとして得ずといふこと無く、事として成らずといふこと無し。」と愛を説いた。

- (3) 下線部③に関連して、次の文は、江戸時代のある思想家による著作の一部であるが、この作者を、下の a～d から一つ選びなさい。

そもそも孝は、万物を生みだす宇宙の本体である太虚の全体にいきわたり、永遠に終わりもなく始めもない。孝のない時もなく、孝のないものもない……このように、孝は広大で無限の最高の徳であるから、太虚から生まれた万事万物の内に孝の原理のそなわらないものはない……わが身をはなれて孝はなく、孝をはなれてわが身はないから、身を立て人の道を行なうのが孝行の綱領である。

- a 山鹿素行
b 中江藤樹
c 伊藤仁斎
d 荻生徂徠

- (4) 下線部④に関連して、賀茂真淵の思想に関する記述として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 「神道のみにて天下を治め」た古代日本の遺風を伝える文献として『万葉集』の文献学的・実証的な研究を行い、『万葉代匠記』を著し、古代の精神に触れるべきとした。
- b 神道家・神職であり、古語の研究によって古義を明らかにし、日本の古代精神の本質をもとめようとした。『万葉集』だけでなく、『古事記』や『日本書紀』の研究の基礎を築いた。
- c 京都で医学を学び、その後『古事記』の実証的な研究を行い『古事記伝』を著した。日本文学に見られる、人の心がものごとに触れた時のしみじみとした感情の動きを理想とした。
- d 神職の家に生まれ、『万葉集』を中心に広く古典を研究した。そこから、男性的でおおらかな気風と、素朴で力強くありのままに生きる心を、古代の理想的な精神とみいだした。

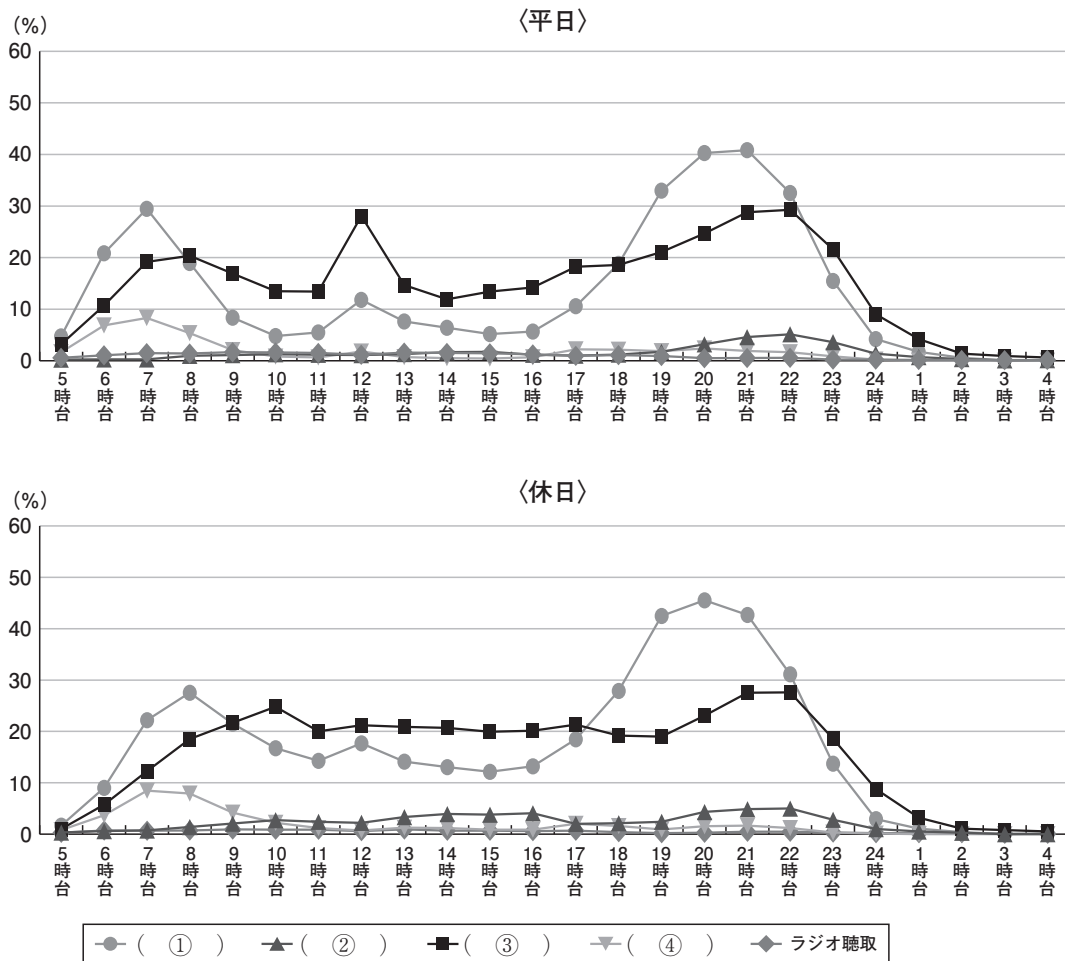
- (5) 下線部⑤に関連して、石田梅岩の思想に関する記述として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 「男女も上下なく一人なり。上なければ下を責め取る奢欲もなし。下なければ上に諂ひ巧むこともなし。故に恨み争ふことなし。…上なければ法を立て下を刑罰することもなく…」
- b 「それ人道は喩ば、水車の如し。…人の道もその如く天理に順ひて、種を蒔き、天理に逆うて草を取り、欲に随ひて家業を励み、欲を制して義務を思ふべきなり。」
- c 「先王の道は、天下を安んずるの道なり。…礼楽刑政凡そ先王の建つる所の者を挙げて、合せてこれに命くるなり。…先王の道は、先王の造る所なり。天地自然の道に非ざるなり。」
- d 「商人の買利は士の禄に同じ。買利なくば士の禄なくして事ふるが如し。…商人の道と云とも、何ぞ士農工の道に替ることあらんや。」

第4問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 次のグラフは、日本における主なメディアの利用時間帯別行為者率の推移を示したものである。(①)～(④)に当てはまるメディアの組み合わせとして適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。 ア



(出典) 総務省情報通信政策研究所「平成29年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」

- | | | |
|---|-----------------|-------------|
| a | ①-ネット利用 | ②-テレビ(録画)視聴 |
| | ③-テレビ(リアルタイム)視聴 | ④-新聞閲読 |
| b | ①-テレビ(リアルタイム)視聴 | ②-テレビ(録画)視聴 |
| | ③-ネット利用 | ④-新聞閲読 |
| c | ①-テレビ(リアルタイム)視聴 | ②-新聞閲読 |
| | ③-ネット利用 | ④-テレビ(録画)視聴 |
| d | ①-ネット利用 | ②-新聞閲読 |
| | ③-テレビ(リアルタイム)視聴 | ④-テレビ(録画)視聴 |

(2) PKOについての記述として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

イ

- a PKOのため、国連内に常設的な平和維持軍が設立されている。
- b PKOには、紛争地域の治安維持を行うだけでなく、文官による選挙の監視などを任務とするものもある。
- c PKOは国連憲章に明記された措置である。
- d PKOに日本の自衛隊が参加したことは、これまでにない。

(3) 次の第二次世界大戦後の地域紛争ア～エのうち、冷戦終結の時期に勃発した地域紛争の組み合わせとして最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

ウ

- ア ロシアからの独立を求めるチェチェン共和国に対して、ロシア軍が攻撃を行い、戦闘状態となったチェチェン紛争。
- イ ボスニア・ヘルツェゴビナ国内のセルビア人、クロアチア人、ムスリム勢力の民族紛争であるボスニア・ヘルツェゴビナ紛争。
- ウ 国境線をめぐる対立に加え、イラン革命の国内波及を嫌ったイラクが起こしたイラン・イラク戦争。
- エ カシミール地方におけるヒンズー教徒とイスラム教徒の対立が引き金になったインド・パキスタン戦争。

- a ア, イ b ア, エ c イ, ウ d ウ, エ

(4) 1997年に採択された京都議定書についての記述として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 国連環境開発会議（地球サミット）で採択された。
- b 先進国と発展途上国の温室効果ガスの削減目標値が採択された。
- c 温室効果ガスの削減目標の基準年は、1990年とされた。
- d 温室効果ガスの排出量取引については定められなかった。

- (5) 経済の国際協力に関する記述として誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a ミレニアム開発目標 (MDGs) は、2015年までに達成することが目指されていた。
- b 持続可能な開発目標 (SDGs) は、ミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として定められた。
- c 持続可能な開発目標 (SDGs) は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものである。
- d ミレニアム開発目標 (MDGs) の8つの目標には、平和が目標の一つとして掲げられていた。

2 次の (1)～(5) の問いに答えなさい。

- (1) レヴィ=ストロースの著作の内容として適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 「草と花とキノコと昆虫の一社会が、そこである独立の生活を自由に営んでおり、その生活に仲間入りを許されるかどうかは、我々の忍耐と謙虚さにかかっているのである。何十メートルか森に入っていくだけで、外の世界を捨て去るには十分であり、1つの世界がもう1つの世界に席を譲る。」
- b 「はたして自分は、いつもの思索とは異なる仕方で思索することができるか、いつもの見方とは異なる仕方で知覚することができるか、そのことを知る問題が、熟視や思索を続けるために不可欠である、そのような機会が人生には生じるのだ……哲学が、思索の思索自体への批判作業でないとするならば、今日、哲学とはいったい何であろうか。」
- c 「倫理は、私が、すべての生きんとする意志に、自己の生に対すると同様な生への畏敬をもたらそうとする内的要求を体験することにある。これによって、道徳の根本原理は与えられたのである。」
- d 「耐え忍ばれた侮辱は、それが〈他人〉の顔を通して、私をみつめ、私を告発するとき、私への裁きとして生起する。耐え忍ばれた侮辱、異邦人・寡婦・孤児という存在こそが、〈他者〉の顔のあらわれだからである。」

- (2) 次の略伝の人物を，下の a～d から一つ選びなさい。 キ

上州安中藩の士族の子に生まれ，聖書に感銘を受け，西洋文明とキリスト教で日本に尽くすと決意した。幕末に国禁を犯して渡米し，苦学して大学に進み，神学を修めて帰国した。1875年，京都に同志社を創設してキリスト教を基本とし，自由自活の精神をもった教育を始め，多くの人材を育てた。

- a 内村鑑三 b 植村正久 c 新島襄 d 成瀬仁蔵

- (3) 平塚らいてうの思想の説明として最も適切なものを，次の a～d から一つ選びなさい。 ク

- a 明治期から昭和期のロマン派の歌人。歌集『みだれ髪』で新鮮な語彙とリズムを用いて，恋をたたえ，官能を肯定し，華麗な作品世界を創造した。
- b 明治期から昭和初期の社会主義運動家。キリスト教に入信し，普通選挙運動・廃娼運動などに社会運動家として積極的に協力した。日本初の社会主義政党である社会民主党の設立にあたった。
- c 明治期の詩人・評論家で，ロマン主義の中心的存在。自由民権運動の挫折を経て，人間性の解放を内面的な自我の確立に求めた。「想世界」における自由と幸福を重んじ，信仰と愛によってその実現を図るべきことを説いた。
- d 大正・昭和期に活動した女性解放運動家。1911年，青鞞社をおこし，女性解放運動の中心的役割を果たした。1920年には市川房枝らと新婦人協会を設立し，さらに女性参政権獲得運動を展開した。

- (4) 丸山眞男の思想の説明として最も適切なものを，次の a～d から一つ選びなさい。

ケ

- a 『共同幻想論』を著し，政治・思想・芸術などを人間の心の生み出した幻想領域として統一的にとらえ，芸術や文学などの個人内部の「自己幻想」，男女の性や家族などの「対幻想」，国家や法の「共同幻想」の3つに分けて論じた。
- b 『日本政治思想史研究』を著し，荻生徂徠から本居宣長へと至る前近代の日本思想のなかに，実は人類普遍の「近代的」な思想が独自に育つ萌芽があったことを論じた。
- c 『無常といふ事』を著し，近代西洋文化の流入によって伝統文化の壊れた現代日本において，「伝統」はどのような現れかたをするのかという問題を展開した。
- d 『日本浪漫派批判序説』を著し，日本浪漫派の思想をウルトラ・ナショナリズムとして黙殺するだけの戦後の思想状況に対して，ナショナリズムのウルトラ化を自己の責任外の出来事となっていたことを批判した。

(5) 19世紀から20世紀の思想家に関する記述として最も適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a サンデルは『孤独な群衆』のなかで、人間の社会的性格を伝統指向型・内部指向型・他人指向型の3類型に分け、現代社会では他人指向型が支配的であると述べた。
- b フロイトは、人間の心の無意識に着目し、リビドーと呼ばれる心的エネルギーが外側と内側のどちらに向かいやすいかによって、社交的でこだわりがなくリーダーシップがある外向型と、慎重で自分の心の内面を掘り下げ、じっくりと物事を考える内向型とに分けた。
- c ウェーバーは『支配の諸類型』のなかで、社会における正当的な支配の純粹類型を、伝統的支配・合法的支配・カリスマ的支配の三つに区分した。
- d マズローは、諸状況において一貫している行動傾向を特性と呼び、これにより性格を分析した。近年、この特性は、ビッグファイブと呼ばれる情緒安定性、外向性、調和性、誠実性、知的関心の開放性の5つの因子にまとめられ、性格が分析されることもある。

第5問 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）の「第2章 第3節 公民」について、次の1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は「第1款 目標」の一部である。文中の（ A ）に当てはまる語句として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

(1) 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる（ A ）を身に付けるようにする。

- a 能力 b 技能 c 知識 d 手法

- 2 次の文は「第1款 目標」の一部である。文中の（ A ）・（ B ）に当てはまる語句の組み合わせとして最も適切なものを，下のa～dから一つ選びなさい。

(3) よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を（ A ）に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，人間としての在り方生き方についての自覚や，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その（ B ）と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

- a A 主体的 B 経済発展
b A 自主的 B 平和
c A 自主的 B 経済発展
d A 主体的 B 平和

- 3 次の文は「第2款 各科目 第1 公共 2 内容 A 公共の扉」の一部である。文中の（ A ）・（ B ）に当てはまる語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

(3) 公共的な空間における基本的原理

自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体となることに向けて、（ A ）、（ B ）、公正などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- | | | |
|---|------|------|
| a | A 幸福 | B 平等 |
| b | A 善 | B 平等 |
| c | A 幸福 | B 正義 |
| d | A 善 | B 正義 |

- 4 次の文は「第2款 各科目 第1 公共 2 内容 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」の一部である。文中の（ A ）・（ B ）に当てはまる語句の組み合わせとして最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

ア (ウ) 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な（ A ）が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の（ B ）を共に成り立たせることが必要であることについて理解すること。

- | | | |
|---|------|------|
| a | A 配分 | B 尊重 |
| b | A 利用 | B 生活 |
| c | A 配分 | B 生活 |
| d | A 利用 | B 尊重 |

- 5 次の文は「第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。文中の（ A ）に当てはまる語句として最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

オ

2 (4) 情報の収集、処理や発表などに当たっては、学校図書館や地域の公共施設などを活用するとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用し、指導に生かすことで、生徒が主体的に学習に取り組めるようにすること。その際、課題の追究や解決の見通しをもって生徒が主体的に情報手段を活用できるようにするとともに、（ A ）の指導にも配慮すること。

- a 情報セキュリティ b 情報モラル c 情報ガバナンス
d ステレオタイプ



